



■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28  
■電話/0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881  
■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail [sakurai@sakurai.click](mailto:sakurai@sakurai.click)  
■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3>

日頃より、櫻井茂の議員活動に深いご理解とご支援を賜り、心から御礼を申し上げます。

今年の梅雨は雨が少なく農作物への影響も心配されるところです。一方、九州北部を襲った記録的な豪雨では、大きな被害が出ました。生活再建に向けた取り組みが進むことを祈りたいと思います。

数か月前まで、内閣支持率は50%を超え、安倍一強と言われていました。しかし、一連の問題で内閣支持率は急落。説明責任の重要性を強く感じるころです。政治家と行政が国民・市民に向き合っているかが問われる夏になりそうです。厳しい暑さが続くことが予想されます。どうぞご自愛ください。

### 一. 議会改革推進特別委員会

議会改革は私の議員活動におけるテーマの一つです。幸いにも議会改革推進特別委員会委員に選任され、継続的に審議できる立場となりました。

第2回議会報告会を開催し、これと並行し議会改革に向けた各種取り組みを検討・審議しています。

#### (1) 議会のICT化推進に向けた取り組み

ICTとは日本語で「情報伝達技術」となります。具体的には、議会及び委員会審査時にタブレット端末(又はノートパソコン)の利用を可能とするため議論を深め、手始めに議会改革推進特別委員会が試験的に利用することに決定しました。議案等を紙から電子化することでペーパーレスへの取り組み促進なども想定されます。今後ICT化に向けた議論をさらに進めます。

また、本会議のインターネット中継、各議員の採決表示等については、現在建設中の新庁舎議場で実現できるよう協議を進めていきます。

#### (2) 政務活動費からの食料支出廃止

石岡市議会では、各党派に対して議員一人当たり年間15万の政務活動費が支給されます。政務活動費の使い方は、使途基準を設け使用できる費目に制限をかけています。ただし、議員自ら定めた使途基準のため、古参議員の一言で「視察先からお勧めがあるものを食べる必要がある」等という理由で、先進地視察における食料の一部支出が認められていました。この時代錯誤を是正すべきとして議論した結果、本年度から食料は基本的に廃止となりました。

#### (3) 政務活動費収支報告書のネット公開

政務活動費の主な使途は、先進地視察の旅費(宿泊費・交通費等)、活動報告書の作成費用等です。毎年3月末日をもって、会派ごとに収支報告書・領収書を議長に提出します。先進地視察に使用し

た場合には、視察報告書の提出も義務付けられています。これらの書類は情報公開請求の対象ですが、先進的な市議会は透明性確保のためホームページに写しを掲載しています。

石岡市議会も本年度使用分、来年3月末までに提出する収支報告書の来年4月以降のホームページ公開を原則決定しました。

審議の詳細については、石岡市議会ホームページの委員会会議録をご覧ください。

### 一. 地域おこし協力隊

本年度新規事業として、国が進める「地域おこし協力隊」の活用が石岡市でも始まりました。

内容は、市から報酬を受け、1年から3年間にわたって地域おこしに取り組み隊員の採用です。隊員は、都心部から石岡市に住まいを移し、契約終了後の起業・石岡市定住も狙いの一つです。

この制度は'09年から始まり、15年度現在、全国673市町村、2635人が活動しており、石岡市では、20代の男女4名が今年6月から活動を開始しました。なお、隊員の活動に要する経費は、国が特別交付税で支援します。

全国の自治体で隊員が活動していますが、必ずしも成功例だけではありません。そのため受け入れる自治体、地域、住民の意識と相互交流がとて

も大切になります。  
4名の隊員は、武蔵野美術大学卒で、アートサイト八郷で活躍した面々。安定した職を投げうっての活動ですので、受入側である私たちの意識も試されるところです。



## 三、第2回定例会で行った一般質問

### (1) 新たな農業委員会への取組みについて

第1回定例会において、農業委員会法改正に伴う取組みが進んでいないことが明らかにになり、今後どのように準備を進めるのか確認します。

(1) 新制度移行への準備について伺います。第1回定例会以降の2か月余での準備、今後の取り組み、農業委員及び農地利用最適化推進委員の選任に際して、留意する点を伺います。

**農業委員会事務局長答弁要旨** 他市の農業委員会へ伺い、留意点やスケジュール等について情報収集を行い、新たな農業委員や最適化推進委員の選定方法や定数、報酬額等について、協議を進めている。農地利用の集積・集約化については、経済部農政課と連携を密にしていりたい。

定数及び報酬額等の条例改正案を12月議会に提案する予定。その後、委員の推薦・公募の手続きを進め、平成30年3月までに委員候補者の調整公表を行い、平成30年第2回定例会に人事案件として、議案を提出したい。

(2) 新制度移行後の石岡市の農業行政の方向性について伺います。

**農業委員会事務局長答弁要旨** 農地の集積集約化を効率よく進めることで、遊休農地の発生が防止、解消され、農業への新規参入が促進されることになる。認識。今後、新たに農地利用最適化推進委員が委嘱され、その方々が農業委員会活動に加わり、さらに実績を上げていただくことで、市の今後の農業発展につながるものと考えている。

**提言** 今後の農業発展につながることを確定したような答弁がありました。そうなるようにやっていますので、農政課と協力して農業行政をリードしてください。

### (2) 歯と口腔の健康づくり推進について

石岡市歯と口腔の健康づくり推進条例が施行されてから1年が経過しました。条例の目指す取り組みをどのように進めていくのか伺います。

(1) むし歯有病率について全国・茨城県・石岡市の状況を伺います。

**保健福祉部長答弁要旨** 学校保健調査によれば、県内の幼稚園、小・中・高の全てで全国平均を3〜6ポイント上回り、5歳児は県46・2%、石岡市48・5%。小学生は県43・3%、石岡市46・1%。中学生は県53・7%、石岡市51・3%。幼児・学童に虫歯が多いという結果がでている。

(2) 条例制定後、市はどのような事業(取組み)を行っているのか伺います。

**保健福祉部長答弁要旨** 条例制定記念式典及び講演会を実施。平成29年度は、口腔衛生の普及啓発として保育園等へのミニサロン出前講座を行う。食生活改善委員や保育士、ケアマネージャを対象に研修会と講演会を実施。またイベント時に歯科相談コーナーを設置します。

(3) 児童生徒の昼食後の歯磨き及びフッ化物塗布、歯科医師会との連携強化について伺います。

**教育部長答弁要旨** 市内19の小学校全てで歯磨きを実施、中学校は6校の内、1校で実施している。フッ化物はいずれも行っていない。

**保健福祉部長答弁要旨** 歯科医師会とは本年の計画等について協議を行っており、今後も連携を密に取りながら健康づくりの力を入れていきたい。

**教育部長答弁要旨** 歯の健康は体全体の健康の原点であり、中学校においても学校歯科医指導の下、歯磨きを推進してまいりたい。

**市長答弁** 条例化にあたり、様々な知見を歯科医師会からいただいております。今後も歯科医師会と連携を取り市民の健康づくりに生かしていきたい。

### (3) 柏原サッカー場の人工芝化について

柏原サッカー場は天然芝のため、維持管理作業が大変であること。さらには土・日・祝日に利用申し込みが多く利用者との調整も大変です。維持管理の軽減と利用時間の拡大を図り、もって利用者要望に応えるため、柏原サッカー場を人工芝へ再整備する取組みについて伺います。

(1) 柏原サッカー場の利用状況を伺います。

**教育部長答弁要旨** 平成28年度の小学生、中学生、社会人の延べ人数で、1万368名となっている。

**再質問** 利用者からの意見要望について伺います。

**教育部長答弁要旨** 天然芝の養生期間があるので、年中使える人工芝にしてほしい。駐車場が狭い。ウォーミングアップする場所がない。ナイター照明を設置してほしい。土日の大会日程がとれない。

(2) 人工芝化の効果について伺います。

**教育部長答弁要旨** 維持管理の負担と経費が軽減される。一年中使用でき雨の日でも利用可能。グランドゴルフ等ほかの競技にも利用できる。ただし、整備費が天然芝の2倍かかる。

(3) 日本サッカー協会の助成事業を利用した施設整備について伺います。

**教育部長答弁要旨** 助成対象限度額6千万円。内5分の4の4千8百万円が助成される。11月〜12月が事業受付、審査を経て4月に交付決定となる。県内では境町が夜間照明付きで1億1千6百万円で整備し、約5千4百万の助成を受けている。

**再質問** 有利な補助である。グランドゴルフやフットサルでも利用でき、ナイター設備を完備すれば24時間利用できます。大会が数多く開催されれば経済効果も見込めます。市長の見解を伺います。

**市長答弁** スポーツ振興あるいは地域活性化の観点から有意義な取り組みである。費用対効果、助成のタイミングなど検討してみたい。

## 四. 正副議長選挙について

### (1) 立候補制による正副議長選挙

地方自治法では、「議長は議員の中から選挙で選び、任期は議員の任期による」とされています。第2回定例会最終日、塚谷議長が辞職願を副議長に提出。ただちに議長選挙が行われました。

石岡市議会基本条例では、議長選挙の立候補者に所信を述べる機会を与えると規定しています。所信については、地方自治法に規定がないため、本会議を休憩して行いました。いわば、議長立候補者が、議長職に対する抱負、やる気を全議員に表明するものです。議長立候補者は岡野孝男副議長ただ一人となり、議会への熱い思いを所信で述べ、22票中19票を獲得して議長に選任されました。続いて副議長選挙も同様に行われ、池田正文議員が21票を獲得し副議長に選任されました。

### (2) 議会基本条例の趣旨を損なう行為

今回の正副議長選挙では、立候補表明をしていない議員にそれぞれ1票が投じられました。議会基本条例には、正副議長選挙が市民に分かりやすく、開かれた議会となるよう、立候補制を盛り込んでいます。このことから、今回の行為は条例の趣旨を損なうモラル違反と考えられます。

## 五. 常任委員会の改選について

### (1) 常任委員会の改選方法

石岡市議会では、議員は常任委員会の内1つに必ず所属することが決められています。また、この任期は2年間とされており、第2回定例会最終日に任期満了に伴う改選が行われました。

改選は、全議員が所属を希望する委員会を申告し、改選当日に常任委員会別に希望議員名を公表。定数を超えた場合は、抽選により決定します。

### (2) 経済建設消防委員会に希望者が殺到

総務委員会、教育福祉環境委員会、経済建設消防委員会の3常任委員会の中で定数を超過したのは経済建設消防委員会です。定数7名に対して3名の超過となりました。これまでは希望者が少ない委員会でしたが、何故超過したのか理由は？

### (3) 常任委員会所属が決定

私は総務委員会所属を希望し、定数に2名不足していたため、抽選せず所属が決定しました。一方、抽選決定となった経済建設消防委員会ですが、抽選前に議員1名が教育福祉環境委員会への異動を申し出たことで、抽選は9名の希望者に対して7名を選び、外れた2名が総務委員会に異動することになりました。各常任委員会の議員構成は、別途配布されます。議会だよりをご参照ください。

### (4) 総務委員会副委員長に就任

各常任委員会の委員構成が決定後、正副委員長が互選され、総務委員会は委員長に山本進議員、副委員長には私、櫻井が指名され就任しました。総務委員会の正副委員長は慣例により、予算特別委員会及び決算特別委員会の正副委員長を務めますので責任重大です。

### (5) 議会運営委員会委員に選任

これまで私の所属する会派は、志誠会（関口忠男議員・山本進議員・櫻井）でしたが、第2回定例会を前に、専心会（池田正文議員・大和田寛樹議員・新田茜議員）と合流し、会派としての活動の幅を広げ議会における発言力強化を図りました。会派再編に伴い、専心会は関口議員と私（櫻井）の2名が議会運営委員会委員に選任されました。議会運営委員会は、議長の諮問機関として議会運営に関する事項や議員の身分に関する事項等を審査する非常に大事な委員会です。

## 六. 霞台厚生施設組合

### (1) 白雲荘解体工事差し止めの仮処分申請

霞台厚生施設組合（石岡市・小美玉市・かずみがうら市・茨城町で構成）が進める、新ごみ焼却場建設に伴い、施設敷地が狭隘なため付帯施設である入浴施設「白雲荘」の解体を行う必要性が生じました。これに対して白雲層の存続を求める方々から、**解体工事を差し止める仮処分申請**が、4月14日に水戸地裁土浦支部に提出されました。

### (2) 仮処分申請とは何か

仮処分とは、ある権利関係に関してトラブルが起こっている場合、本訴（裁判）による結果を待たずに債権者に著しい不利益が発生する危険があり、保全を認める必要性が高い場合に、権利保全に必要な暫定的措置を認める処分のことです。

### (3) 解体工事の契約締結、工事開始

仮処分申請が提出されたとはいえ、裁判所の認定が出るまでは、入札（5月31日）―契約締結―解体工事の業務を進める必要があります。これは、裁判所の判断が出るまでは、業務を止める義務がないこと。さらには、仮に仮処分を裁判所が認めなかった場合、契約行為の履行をしていないと、解体請負業者に違約金が発生するためです。裁判所の結論とその時期が注目されます。

### (3) 仮処分申請の影響について

私の活動報告第7号（H29年2月15日号）において、「3百億円超の債務負担行為を可決」と題し、新ごみ処理施設整備の財源内訳について触れました。この中で、震災復興特別交付税収入の約104億円は平成33年3月末までの適用となり、現在の建設スケジュールに遅れが生じた場合、1年の遅延で20億円強が減額されることを記載したところです。仮処分申請やその後の本訴訟により、工事予定に遅れが生じないことを祈るばかりです。

## 七. 議会を傍聴してみませんか

平成29年第3回定例会は8月29日開会。会議の開始時間は、9月13日の議会改革推進特別委員会の午後1時30分開会を除き、全て午前10時開会となります。

今回の議会は、石岡市長選挙直前の議会となります。今泉市長は第2回定例会の一般質問において、再出馬を表明していることから、この4年間の総括及び再選に向けた具体的な政策について、一般質問が行われるのではないかと思います。

八郷総合支所4階にある本会議場へ足をお運びいただき、議会そして議員の発言と行動を是非ともご覧いただきたいと存じます。

傍聴席では飲食・携帯電話の使用、私語の禁止などの約束があります。議会のテレビ中継は、本会議（開会・一般質問・議案質疑・閉会）のみ放映しており、中継を見ることができないテレビは、市役所本館ロビー、まちかど情報センター、八郷総合支所1階ロビーにあります。着色してある会議は私が出席する会議となります。

月 日	曜	会議内容
8月29日	火	開会
30日～9月3日		休会
9月4日	月	一般質問
9月5日	火	一般質問
9月6日	水	一般質問
9月7日	木	議案質疑
9月8日	金	教育福祉環境委員会
9日・10日		休会
9月11日	月	総務委員会
9月12日	火	経済建設消防委員会
9月13日	水	議会運営委員会 議会改革推進特別委員会
9月14日	金	採決・閉会

## 八. 山東昭子参議院議員誕生日会

### (1) 七五(なごみ)の会

山東昭子参議院議員75歳の誕生日会に参加しました。七五(なごみ)の会と称して、5月11日、東京プリンスホテルに約2千人の支援者が一堂に集いました。自民党で初めて女性の派閥領袖(山東派代表)を務める実力者にふさわしく、テレビでおなじみの来賓の方々が多数集まりました。

大島衆議院議長そして高村自民党副総裁をはじめとする閣僚を含む自民党の国会議員、さらには芸能人や宝塚のスター等、数多くの来賓が壇上上がり、華やかなパーティーとなりました。

時は、東京都議会選挙直前ということもあり、都議会議員の方々の紹介もあり選挙ムードになりました。つたある中、今回の主賓格である悪役商会で名をはせた俳優の八名信夫氏が紹介されると会場の雰囲気は一変。

銀幕の悪役という印象とは異なり、長身でスマートな体形は年齢を感じさせません。笑顔を絶やさず穏やかな口調から、山東参議院議員との50年にわたる交際のエピソードが語られると、どよめきと笑いで大いに盛り上がりしました。

山東参議院議員は、国政の中心で活躍する一方、茨城にもたびたび足を運ばれており、そのたびに交流を深めさせていただいております。



## 九. 橋本まさる総決起大会

茨城県知事選挙(8月27日投票)まで、あとわずかとなってきました。

7月15日、橋本まさる茨城県知事の総決起大会に出席してきました。水戸プラザホテルにおいて県内各首長や市町村議会議員多数を含め、約2千5百名の支援者が集まり、盛大に開催されました。

茨城県内44市町村のうち41人の首長が橋本知事を応援していることが報告され、2年後の茨城国体は新しい天皇陛下を迎える大切で失敗の許されない国体となることや、東京オリンピックのサッカー会場としてカシマスタジアムが使用されることが橋本知事の熱心な陳情により、逆転で実現したことが報告されました。

各種団体の推薦もその多くが橋本知事に寄せられており、県政は勿論、県と協力する大型事業を抱える石岡市政にとっても、政策の継続が望まれるところです。



## 十. 議員活動報告について

私の活動報告は、議会・議員の活動や市政の様子を中心に記事をまとめています。紙面の都合上限られた情報として拙い文章で恐縮ですが、ご一読いただければ幸いです。

ご意見・ご要望、そして配布の希望あるいは停止等、遠慮なくご連絡願います。お手紙、電話・FAX・メールを問いません。